

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

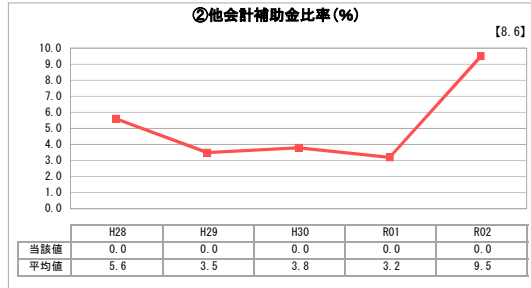
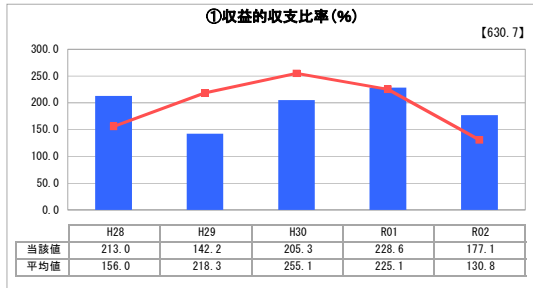
香川県丸亀市 福島駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	立体式	40	

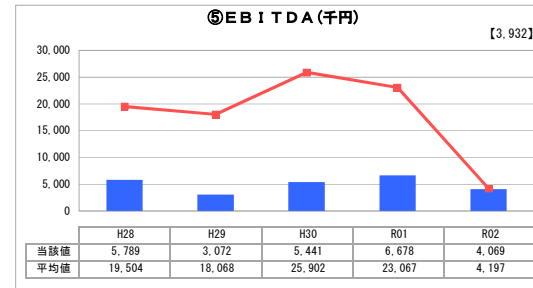
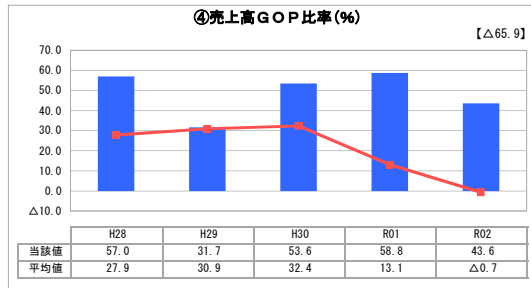
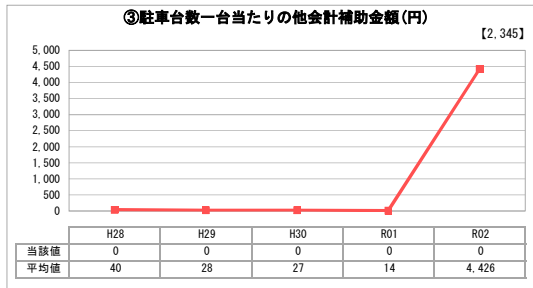
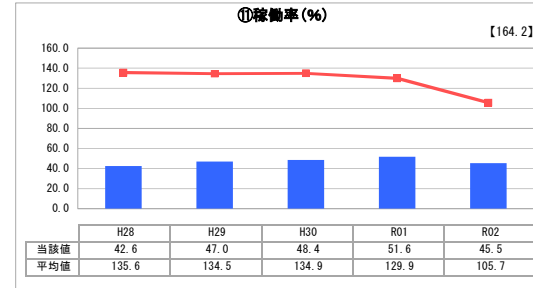
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m <sup>2</sup> )
駅	無	6,492
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
345	200	代行制

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

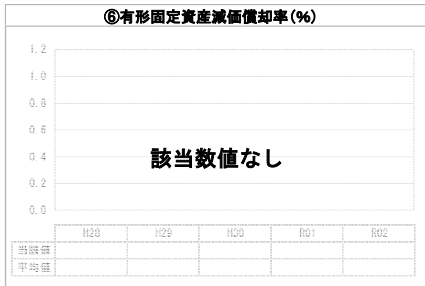
## 1. 収益等の状況



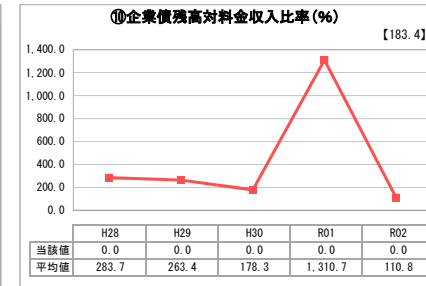
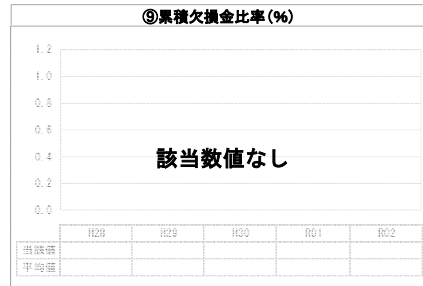
## 3. 利用の状況



## 2. 資産等の状況



⑦敷地の地価(千円)	101,230
⑧設備投資見込額(千円)	220,000



## 分析欄

1. 収益等の状況について  
 ①収益的収支比率については、料金収入の減により前年度に比べ低下している。  
 繰入金等もなく、②他会計補助金比率と③駐車台数一台当たりの他会計補助金額は0である。  
 ④売上高GOP比率については、料金収入が減少したことより低下している。  
 ⑤EBITDAについては、前年度に比べて低下した。最大料金設定などが、利用者に定着してきている。

2. 資産等の状況について  
 耐震性が低く、老朽化が進んでおり、補修・改修等に多額の費用が見込まれることから、経営戦略の中で、近い将来解体する方向である。このため、現時点での⑧設備投資見込額は220,000千円見込んでいる。  
 ⑩企業債残高対料金収入比率については、企業債残高はないため、0となっている。

3. 利用の状況について  
 当該駐車場は大規模な駐車場であるが、施設規模に対して利用者数がかんり少ないため、⑩稼働率が類似施設の平均値よりも大きく下回っている。これは、隣接する商店街の衰退に伴って、当該駐車場利用者数が激減したことによるものである。  
 当該駐車場は、平成29年度から実施している営業時間の24時間化や入庫から1時間以内無料、駐車開始時刻から24時間以内の最高金額を500円などの利用率向上に向けた取組みが定着してきている。  
 また、最高金額を500円と設定したことで、駅前地下駐車場（最高金額1,000円）利用者が福島駐車場を利用するようになり、駅前地下駐車場の混雑緩和にも繋がっている。

全体総括  
 現在、収支は黒字で経営自体に問題は無い。  
 今年度はコロナの影響もあり、利用台数・料金収入も減っているが、最高金額を設定したことで収入はある程度安定している。しかしながら、施設の老朽化より更なる設備投資が見込まれるが、経営戦略により近い将来解体の予定であるので、利用者の安全、利便性を考え、最小限の修繕で対応したい。  
 引き続き、指定管理者と連携し、駐車場の利用促進を図りたい。